



1 教習会に参加した感想等

- 実際にエコドライブをしたら、どれだけ燃費が変わるのか等が体験でき、とても勉強になった。少し意識するだけで効果が出るのが分かり、気にして運転するようになった。（A事業所様：保有車両台数 52 台）
- リアルタイムで燃費が計測される装置を取付した車両による実車指導により、通常の運転と「ふんわりアクセル」等のエコドライブ運転での燃費の違いが実感でき、非常に有意義なものであった。（B事業所様：保有車両台数 45 台）
- アクセルの踏み方などは、なかなか自分の癖が抜けずに苦労した。（C事業所様：保有車両台数 51 台）
- 交通の流れを遮っての教習会での通行には心が痛んだ。（同上）

2 教習会後の取り組み内容等

- エコドライブ教習会で学んだことを社内に持ち帰り、エコドライブ推進の呼びかけを行っている。燃費計測はまだ行っていないが、今後実施していきたいと思う。（A事業所様）
- 事業所内で「エコドライブ 10 のすすめ」などを電子掲示板に掲載し、啓発を実施した。（B事業所様）
- 事業所内各課・所を単位として「エコドライブコンテスト」を実施し、通常運転時の燃費とエコドライブを意識した運転時の燃費を計測した。（B事業所様）
- 仕事中心にエコドライブ全てを実行することは困難であるが、エコドライブを意識して運転することは可能であり、今後取り組んでいきたい。（C事業所様）
- エコドライブ教習後、アクセルの開度に気を遣い、エンジンブレーキを多用する等、運転の意識の改善が図れた。（C事業所様）





市民エコドライブ教習会 受講報告

1 市民エコドライブ教習会に参加した感想等

- 最初は自分の車で燃費を測定するのかと思っていたが、市が実車を用意しての教習会を無料で受講できたことは、大変良かったと思う。自分では「普段からエコな運転を心がけているから、これ以上燃費を抑えるのは無理だろう」と思っていたが、教習会に参加してみてもびっくり。意外と燃費向上の数値が実測されたことは、良い意味でショックだった。私もこの機会に二酸化炭素削減のため、できることから色々始めたいと思っている。（A様：運転歴16年）
- どうせつまらないだろう（すみません）と思って行ったが、見事に裏切られた。燃費計を装備した実車での教習は、（当然ではあるが）運転の仕方がすぐに燃費に反映されるもので、運転の仕方のちょっとしたことでもすぐに燃費に影響することがよくわかった。興味深く、かつ面白く教習することができ感謝している。（B様：運転歴34年）
- エコドライブには気配り、思いやりがある。（C様：運転歴35年）
- このような研修を受けたことがなく、自己流で行っていたが、教習を受け本当に勉強になった。（D様：運転歴63年）
- 環境にやさしい運転法でよかった。（E様：運転歴53年）

2 教習会後の取り組み内容等

- アイドリングストップが二酸化炭素削減に効果があることはよく理解できた。ただ残念なことに、自分の車も含めて最近の自動車にはいわゆるインテリジェントキーシステムとプッシュ式エンジンスタートシステムのため、Pレンジにギアが入っていないとエンジンの始動ができない仕組みになっている。これらは時代の変化とともに車両装置が高度化しているため、今後の教習会の大きな課題になってくると思われる。（A様）
- その後の実際の運転でも取り組んでいる。昨年の今頃は通勤と市内の運転で燃費が16.5キロだった。同じような乗り方をして今年は17.5キロになっている。ふんわりスタートと信号待ちなどのアイドリングストップを実践しているが、何が何でも、ということではなく、気づいた時になるべく心がけるような気楽な気持ちで取り組んでいる。息苦しくならず、長続きするように、と思っている。（B様）
- 出来れば教習所のようにインストラクターと受講者が1対1の方がよい。また、教習コースは交通量が多かったため、会津総合運動公園等で教習できないか。（C様）
- 雨又は雪の日以外は自転車に乗るようにしている。（D様）
- 市内での運転ではエコドライブに努めている。だが、まだ後続車が気になってしまう。（E様）